

環境活動レポート

2010年度(2010年1月～2010年12月)

2011年 4月

株式会社 吉銘



目次

1. 環境方針	P. 1
2. 事業活動の概要	P. 2
3. 環境目標と活動の実績	P. 3
・実績の経過グラフ(CO ₂ 、廃棄物量、総排水量)	P. 4
4. 環境目標の達成評価	P. 5
5. サイト別の環境への取組状況および環境活動計画の内容と評価	
5 - 1. 本社・新住工場の活動内容	P. 6
5 - 2. 田原本工場の活動内容	P. 7
5 - 3. 五條工場の活動内容	P. 8
6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	P. 9

1. 環境方針

< 基本理念 >

『大自然に感謝して、少しでも恩返しを』

< 行動指針 >

1. 大自然から受けた恩恵である木材を人間の知恵をもって最大限に余すことなく有効に利用し 木を活かす企業 として循環型の住みよい環境の実現を目指します。
2. 環境汚染を未然に防止すると共に、環境経営システムと環境パフォーマンスを自主的・継続的に改善できるように推進します。
 - ・二酸化炭素排出量の削減
 - ・廃棄物排出量の削減
 - ・総排水量の削減
 - ・化学物質の適正使用について維持管理
 - ・グリーン購入の推進
 - ・環境に配慮した原材料の使用を推進
3. 環境教育・訓練・社内広報活動の実施により、全ての従業員に環境方針を周知徹底すると共に、環境保全に関する知識・認識の向上を図ります。
4. 環境関連法令と当社が参加した協定等を遵守し、必要に応じて環境管理レベルの向上を図ります。

この環境方針は、社外の人にも公開します。

制定日 2005年 5月21日

改定日 2010年 1月27日

株式会社 吉銘

代表取締役社長 貝本 隆三

2. 事業活動の概要

事業所名および代表者名

株式会社 吉銘

本社(管理本部・新住工場)、田原本工場、五條工場
代表取締役社長 貝本 隆三

所在地

本社 奈良県吉野郡下市町大字新住1118
田原本工場 奈良県磯城郡田原本町大字味間436
五條工場 奈良県五條市島野町485番地

東京支店、札幌支店、福岡営業所、特販部(奈良県橿原市)は対象外です。

環境負荷の大きい製造工場については認証範囲を拡大しています。
今後、3年以内に全社に認証拡大の予定です。

環境保全関係の責任者および担当者連絡先

環境経営責任者 代表取締役社長 貝本 隆三

E A管理責任者 本社 勝村 貴志
連絡先 TEL : 0747-52-4066
FAX : 0747-52-4797
E-mail : hinkan@yoshimei.co.jp

事業規模(2010年度)

資本金 7200万円
年商 (全社) 80.5億円
主要製品生産量(全社) 12496トン
・本社・新住工場:2356トン
・田原本工場:6818トン
・五條工場:3322トン
従業員 (全社) 139名 正社員 92名 パート他 47名 (平成23年2月現在)
(サイト別)・本社・新住工場:46名
・田原本工場:36名
・五條工場:36名
・対象外サイト:21名
床面積
・本社・新住:13600m²
・田原本工場:5811m²
・五條工場:6337m²

事業内容

集成材の製造販売および住宅関連商品の販売

沿革

昭和25年4月 貝本商店の創業
(創業者、現取締役相談役 貝本 輝司)
昭和28年4月 業界に先駆け集成材の製造販売開始(当社 元祖)
昭和40年4月 吉野銘木製造販売(株)に法人組織化
昭和45年1月 貝本木材工業(株)を新たに設立(株吉銘の前身)
昭和50年6月 (株吉銘)に社名変更
昭和52年7月 本社を橿原市に新築移転
昭和52年9月 (株)吉銘福山を設立
昭和55年9月 山陰営業所の開設
昭和58年8月 福岡営業所の開設
昭和58年9月 吉野郡大淀町に佐名伝工場を新設
昭和59年10月 岡山営業所の開設
昭和61年4月 吉野銘木製造販売(株)の集成材工場を製造部門として合併
昭和62年3月 東京支店の開設
平成2年3月 資本金7200万円に増資
平成5年9月 全自動別注造材プレカットライン完成
平成6年2月 五條工場新設
平成6年9月 札幌営業所開設
平成7年2月 (株)東日本ウッドワークス中部設立
平成9年1月 桜井工場新設
平成12年6月 ISO9002認証取得
平成14年4月 田原本工場新設
平成15年3月 貝本木業(上海)有限公司設立
平成15年4月 ISO9001取得
平成16年10月 本社を下市町新住に移転、製造部門と統合
平成18年3月 本社(管理本部・新住工場)でエコアクション21の認証を取得
平成20年3月 一部認証範囲を拡大(田原本工場および五條工場を追加)

3. 環境目標と活動の実績

環境目標の設定 本社及び3工場合計

		2006年 (37期)	2010年 (39期)	2011年 (40期)	2012年 (41期)
二酸化炭素排出量 (kg-CO2/年)	総量	2,048,626	1,566,504	1,546,018	1,525,531
			23.5%削減	24.5%削減	25.5%削減
廃棄物排出量 (トン/年)	総量	310	91.6	88.5	85.4
			70.5%削減	71.5%削減	72.5%削減
総排水量 (m3/年)	総量	19,869	13,902	13,702	13,503
			30.0%削減	31.0%削減	32.0%削減
化学物質	使用量(t/m3)		生産量あたりの接着剤の使用量を維持		
グリーン購入	件数(件/年)		1件以上	2件以上	3件以上
環境配慮製品	使用割合(%)		化粧ばり造作用集材用の原材料において認証材の使用割合10%以上		

田原本工場 (基準)

		2006年 (37期)	2010年 (39期)	2011年 (40期)	2012年 (41期)
二酸化炭素排出量 (kg-CO2/年)	総量	565,989	462,413	456,753	451,093
			18.3%削減	19.3%削減	20.3%削減
廃棄物排出量 (トン/年)	総量	283	77.26	74.43	71.60
			72.7%削減	73.7%削減	74.7%削減
総排水量 (m3/年)	総量	7,829	5,598	5,519	5,441
			28.5%削減	29.5%削減	30.5%削減
化学物質	使用量(t/m3)		生産量あたりの接着剤の使用量を維持		
グリーン購入	件数(件/年)		1件以上	2件以上	3件以上
環境配慮製品	使用割合(%)		化粧ばり造作用集材用の原材料において認証材の使用割合10%以上		

活動の実績

本社及び3工場合計

		2006年 (37期)	2008年 (39期)	2009年 (40期)	2010年 (41期)	
二酸化炭素排出量	総量(kg-CO2/年)	2,048,626	1,888,000	1,586,807	1,696,908	
	内訳	購入電力(kg-CO2/年)	1,410,645	1,331,899	1,150,363	1,162,814
		化石燃料(kg-CO2/年)	637,981	556,101	436,444	534,094
		生産量(トン)	11,139	10,452	9,804	11,391
	生産量当たり(kg-CO2/トン)	183.9	180.6	161.9	149.0	
廃棄物排出量	総量(トン/年)	310	166	145	85	
	生産量(トン)	11,139	10,452	9,804	11,391	
	生産量当たり	0.028	0.016	0.015	0.007	
	総量(m3/年)	19,869	17,120	14,102	13,844	
総排水量	生産量(トン)	11,139	10,452	9,804	11,391	
	生産量当たり(m3/トン)	1.784	1.638	1.438	1.215	
	総量(トン/年)			207	243	
化学物質	生産量(トン/年)			9804	11,391	
	生産量当たり使用量(t/m3)			0.021	0.021	
	グリーン購入	件数(件/年)				3
環境配慮製品	化粧ばり造作用集材用の認証材総量(トン/年)				601	
	化粧ばり造作用集材用の原材料総量(トン/年)				2434	
	認証材使用割合(%)				24.7%	

田原本工場 (基準)

		2006年 (37期)	2008年 (39期)	2009年 (40期)	2010年 (41期)	
二酸化炭素排出量	総量(kg-CO2/年)	565,989	552,779	468,308	469,192	
	内訳	購入電力(kg-CO2/年)	514,156	506,171	427,762	430,536
		化石燃料(kg-CO2/年)	51,833	46,708	40,546	38,656
		生産量(トン)	6,899	6,329	6,500	6,818
	生産量当たり(kg-CO2/トン)	82.0	87.4	72.0	68.8	
廃棄物排出量	総量(トン/年)	283	135	127	62	
	生産量(トン)	6,899	6,329	6,500	6,818	
	生産量当たり	0.041	0.021	0.019	0.009	
	総量(m3/年)	7,829	5,951	5,675	5,235	
総排水量	生産量(トン)	6,899	6,329	6,500	6,818	
	生産量当たり(m3/トン)	1.135	0.940	0.873	0.768	
	総量(トン/年)				177.8	
化学物質	生産量(トン/年)				6,500	
	生産量当たり使用量(t/m3)				0.027	
	グリーン購入	件数(件/年)				1
環境配慮製品	化粧ばり造作用集材用の認証材総量(トン/年)				0.000	
	化粧ばり造作用集材用の原材料総量(トン/年)				0.000	
	認証材使用割合(%)				---	

本社・新住工場 (新基準)

		2006年 (37期)	2010年 (39期)	2011年 (40期)	2012年 (41期)
二酸化炭素排出量 (kg-CO2/年)	総量	612,131	486,032	479,911	473,789
			20.6%削減	21.6%削減	22.6%削減
廃棄物排出量 (トン/年)	総量	24	11.16	10.92	10.68
			53.5%削減	54.5%削減	55.5%削減
総排水量 (m3/年)	総量	6,963	4,039	3,969	3,899
			42.0%削減	43.0%削減	44.0%削減
化学物質	使用量(t/m3)		生産量あたりの接着剤の使用量を維持		
グリーン購入	件数(件/年)		1件以上	2件以上	3件以上
環境配慮製品	使用割合(%)		化粧ばり造作用集材用の原材料において認証材の使用割合10%以上		

五條工場 (基準)

		2006年 (37期)	2010年 (39期)	2011年 (40期)	2012年 (41期)
二酸化炭素排出量 (kg-CO2/年)	総量	870,506	618,059	609,354	600,649
			29.0%削減	30.0%削減	31.0%削減
廃棄物排出量 (トン/年)	総量	3.3	3.20	3.17	3.14
			3%削減	4%削減	4%削減
総排水量 (m3/年)	総量	5,077	4,265	4,214	4,163
			16%削減	17%削減	18%削減
化学物質	使用量(t/m3)		生産量あたりの接着剤の使用量を維持		
グリーン購入	件数(件/年)		1件以上	2件以上	3件以上
環境配慮製品	使用割合(%)		化粧ばり造作用集材用の原材料において認証材の使用割合10%以上		

本社・新住工場 (新基準)

		2006年 (37期)	2008年 (39期)	2009年 (40期)	2010年 (41期)	
二酸化炭素排出量	総量(kg-CO2/年)	612,131	537,167	492,152	507,937	
	内訳	購入電力(kg-CO2/年)	486,774	456,953	431,543	445,002
		化石燃料(kg-CO2/年)	125,357	80,214	60,609	62,935
		生産量(トン)	2,373	1,700	1,250	1,450
	生産量当たり(kg-CO2/トン)	258.0	316.0	393.7	350.3	
廃棄物排出量	総量(トン/年)	24	24	14	19	
	生産量(トン)	2,373	1,700	1,250	1,450	
	生産量当たり	0.010	0.014	0.011	0.013	
	総量(m3/年)	6,963	5,587	4,111	4,158	
総排水量	生産量(トン)	2,373	1,700	1,250	1,450	
	生産量当たり(m3/トン)	2.934	3.286	3.289	2.868	
	総量(トン/年)			20.28	21,220	
化学物質	生産量(トン/年)			1,250	1,450	
	生産量当たり使用量(t/m3)			0.016	0.015	
	グリーン購入	件数(件/年)				1
環境配慮製品	化粧ばり造作用集材用の認証材総量(トン/年)				601	
	化粧ばり造作用集材用の原材料総量(トン/年)				2434	
	認証材使用割合(%)				24.7%	

五條工場 (基準)

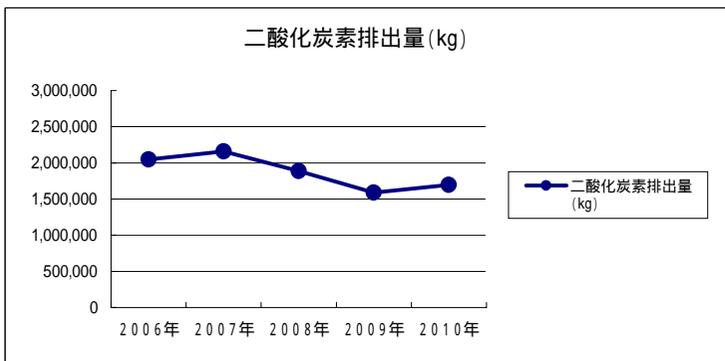
		2006年 (37期)	2008年 (39期)	2009年 (40期)	2010年 (41期)	
二酸化炭素排出量	総量(kg-CO2/年)	870,506	797,954	626,347	719,780	
	内訳	購入電力(kg-CO2/年)	409,715	368,775	291,058	287,276
		化石燃料(kg-CO2/年)	460,791	429,179	335,289	432,504
		生産量(トン)	1,867	2,423	2,054	3,123
	生産量当たり(kg-CO2/トン)	466.3	329.3	304.9	230.5	
廃棄物排出量	総量(トン/年)	3.3	7.4	4.2	3.5	
	生産量(トン)	1,867	2,423	2,054	3,123	
	生産量当たり	0.002	0.003	0.002	0.001	
	総量(m3/年)	5,077	5,582	4,316	4,451	
総排水量	生産量(トン)	1,867	2,423	2,054	3,123	
	生産量当たり(m3/トン)	2.719	2.304	2.101	1.425	
	総量(トン/年)				44.240	
化学物質	生産量(トン/年)				2,054	
	生産量当たり使用量(t/m3)				0.022	
	グリーン購入	件数(件/年)				1
環境配慮製品	化粧ばり造作用集材用の認証材総量(トン/年)				0.000	
	化粧ばり造作用集材用の原材料総量(トン/年)				0.000	
	認証材使用割合(%)				---	

二酸化炭素排出量算定の排出係数 : 購入電力0.378(kg-CO2/kWh) 灯油0.0679(kg-CO2/MJ) 液化石油ガス0.0598(kg-CO2/MJ) ガソリン0.0671(kg-CO2/MJ) 軽油0.0687(kg-CO2/MJ) (以降同様)

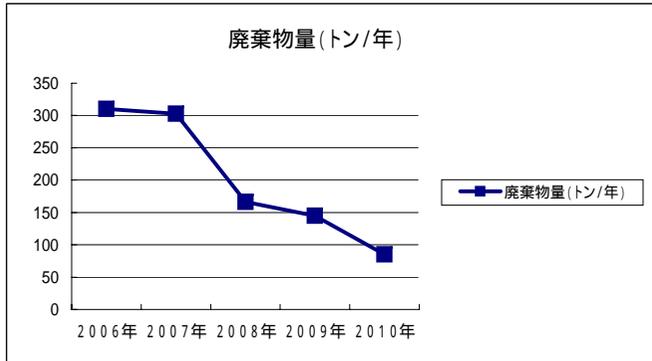
・実績の経過グラフ(CO₂、廃棄物量、総排水量)

本社及び3工場(新住工場、田原本工場、五條工場)の合計量

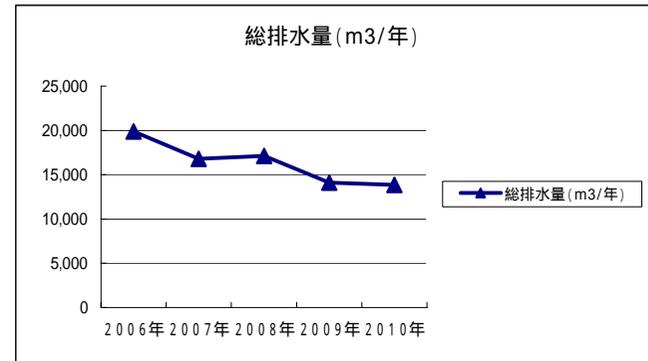
	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
二酸化炭素排出量(kg)	2,048,626	2,160,280	1,888,000	1,586,807	1,696,908



	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
廃棄物量(トン/年)	310	303	166	145	85

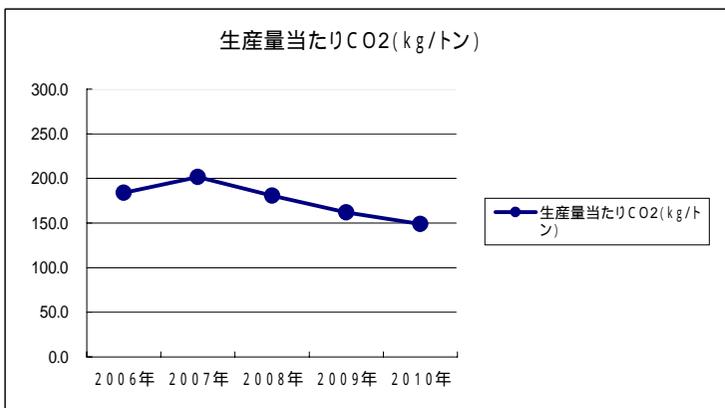


	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
総排水量(m ³ /年)	19,869	16,786	17,120	14,102	13,844

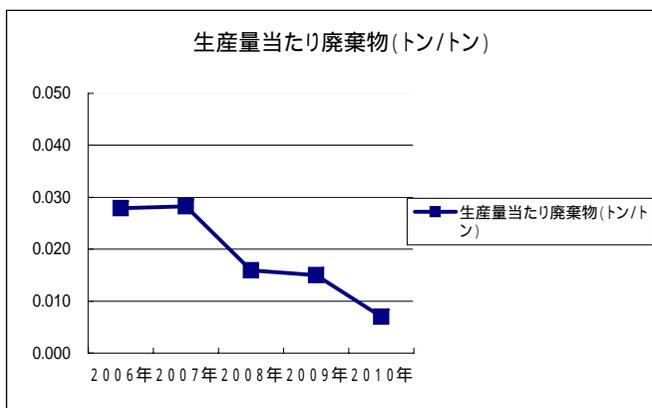


本社及び3工場(新住工場、田原本工場、五條工場)の生産量あたりの排出量

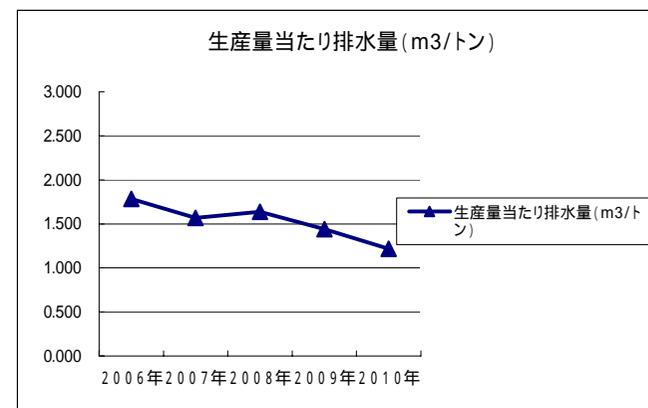
	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
生産量当たりCO ₂ (kg/トン)	183.9	201.7	180.6	161.9	149.0



	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
生産量当たり廃棄物(トン/トン)	0.028	0.028	0.016	0.015	0.007



	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
生産量当たり排水量(m ³ /トン)	1.784	1.567	1.638	1.438	1.215



4. 環境目標の達成評価

本社及び3工場合計

(基準)

	2010年		評価		
	(37期)	実績			
二酸化炭素排出量 (電力+化石燃料)	総量(kg-CO2/年)	2,048,626	1,696,909	総量において、目標未達 生産量当りの排出量にお いても目標未達	✕
	基準に対する削減率(%)	23.5%	17.2%		
	生産量(トン)	11,139	11,391		
	生産量当たり(kg-CO2/トン)	183.9	149.0		
	基準に対する削減率(%)		19.0%		
廃棄物排出量	総量(トン/年)	310	85	総量において、目標達成 生産量当りの排出量にお いても目標達成	
	基準に対する削減率(%)	70.5%	72.6%		
	生産量(トン)	11,139	11,391		
	生産量当たり	0.028	0.007		
	基準に対する削減率(%)		73.2%		
総排水量	総量(m3/年)	19,869	13,844	総量において、目標達成 生産量当りの排出量にお いても目標達成	
	基準に対する削減率(%)	30.0%	30.3%		
	生産量(トン)	11,139	11,391		
	生産量当たり(m3/トン)	1.8	1.2		
	基準に対する削減率(%)		31.9%		
化学物質	総量(トン/年)		243	生産量当たり使用量が 2009年と比べて同じ	
	生産量(トン/年)		11,391		
	生産量当たり使用量(t/m3)		0.021		
グリーン購入	件数(件/年)	1件	3件(以上)	目標達成	
環境配慮製品	化粧ばり造作用集材用の 認証材総量(トン/年)	化粧ばり造作用集材材 の	601	目標達成	
	化粧ばり造作用集材用の 原材料総量(トン/年)	原材料において認証材 の	2434		
	認証材使用割合(%)	使用割合10%以上	24.7%		

田原本工場

(基準)

	2010年		評価		
	(37期)	実績			
二酸化炭素排出量 (電力+化石燃料)	総量(kg-CO2/年)	565,989	469,192	総量において、目標未達 生産量当りの排出量にお いても目標未達	✕
	基準に対する削減率(%)	18.3%	17.1%		
	生産量(トン)	6,899	6,818		
	生産量当たり(kg-CO2/トン)	82.0	68.8		
	基準に対する削減率(%)		16.1%		
廃棄物排出量	総量(トン/年)	283.00	62.1	総量において、目標達成 生産量当りの排出量にお いても目標達成	
	基準に対する削減率(%)	72.7%	78.1%		
	生産量(トン)	6,899	6,818		
	生産量当たり	0.04	0.01		
	基準に対する削減率(%)		77.8%		
総排水量	総量(m3/年)	7,829	5,235	総量において、目標達成 生産量当りの排出量にお いても目標達成	
	基準に対する削減率(%)	28.5%	33.1%		
	生産量(トン)	6,899	6,818		
	生産量当たり(m3/トン)	1.13	0.77		
	基準に対する削減率(%)		32.3%		
化学物質	総量(トン/年)		178.10	生産量当たり使用量が 2009年と比べて0.001ポイ ント減	
	生産量(トン/年)		6,818		
	生産量当たり使用量(t/m3)		0.026		
グリーン購入	件数(件/年)	1件	1件	目標達成	
環境配慮製品	化粧ばり造作用集材用の 認証材総量(トン/年)	化粧ばり造作用集材材 の	- - -	目標達成	- - -
	化粧ばり造作用集材用の 原材料総量(トン/年)	原材料において認証材 の	- - -		
	認証材使用割合(%)	使用割合10%以上	- - -		
			- - -		

本社・新住工場

(新基準)

	2010年		評価		
	(37期)	実績			
二酸化炭素排出量 (電力+化石燃料)	総量(kg-CO2/年)	612,131	507,937	総量において、目標未達 生産量当りの排出量にお いても目標未達	✕
	基準に対する削減率(%)	20.6%	17.0%		
	生産量(トン)	2,373	1,450		
	生産量当たり(kg-CO2/トン)	258.0	350.3		
	基準に対する削減率(%)		-35.8%		
廃棄物排出量	総量(トン/年)	24	19.4	総量において、目標未達 生産量当りの排出量にお いても目標未達	✕
	基準に対する削減率(%)	53.5%	20.5%		
	生産量(トン)	2,373	1,450		
	生産量当たり	0.010	0.013		
	基準に対する削減率(%)		-30.1%		
総排水量	総量(m3/年)	6,963	4,158	総量において、目標未達 生産量当りの排出量にお いても目標未達	✕
	基準に対する削減率(%)	42.0%	40.3%		
	生産量(トン)	2,373	1,450		
	生産量当たり(m3/トン)	2,934	2,868		
	基準に対する削減率(%)		2.3%		
化学物質	総量(トン/年)		21.22	生産量当たり使用量が 2009年と比べて0.001ポイ ント減	
	生産量(トン/年)		1,450		
	生産量当たり使用量(t/m3)		0.015		
グリーン購入	件数(件/年)	1件	1件以上	目標達成	
環境配慮製品	化粧ばり造作用集材用の 認証材総量(トン/年)	化粧ばり造作用集材材 の	601	目標達成	
	化粧ばり造作用集材用の 原材料総量(トン/年)	原材料において認証材 の	2434		
	認証材使用割合(%)	使用割合10%以上	24.7%		

五條工場

(基準)

	2010年		評価		
	(37期)	実績			
二酸化炭素排出量 (電力+化石燃料)	総量(kg-CO2/年)	870,506	719,780	総量において、目標未達 生産量当りの排出量にお いても目標達成	
	基準に対する削減率(%)	29.0%	17.3%		
	生産量(トン)	1,867	3,123		
	生産量当たり(kg-CO2/トン)	466.26	230.48		
	基準に対する削減率(%)		50.6%		
廃棄物排出量	総量(トン/年)	3.30	3.50	総量において、目標未達 生産量当りの排出量にお いても目標達成	
	基準に対する削減率(%)	3.0%	-6.1%		
	生産量(トン)	1,867	3,123		
	生産量当たり	0.0018	0.0011		
	基準に対する削減率(%)		36.6%		
総排水量	総量(m3/年)	5,077	4,451	総量において、目標未達 生産量当りの排出量にお いても目標達成	
	基準に対する削減率(%)	16.0%	12.3%		
	生産量(トン)	1,867	3,123		
	生産量当たり(m3/トン)	2.72	1.43		
	基準に対する削減率(%)		47.6%		
化学物質	総量(トン/年)		44.16	生産量当たり使用量が 2009年と比べて0.008ポイ ント減	
	生産量(トン/年)		3,123		
	生産量当たり使用量(t/m3)		0.014		
グリーン購入	件数(件/年)	1件	1件	目標達成	
環境配慮製品	化粧ばり造作用集材用の 認証材総量(トン/年)	化粧ばり造作用集材材 の	- - -	目標達成	- - -
	化粧ばり造作用集材用の 原材料総量(トン/年)	原材料において認証材 の	- - -		
	認証材使用割合(%)	使用割合10%以上	- - -		
			- - -		

二酸化炭素排出量算定の排出係数： 購入電力0.378(kg-CO2/kWh) 灯油0.0679(kg-CO2/MJ) 液化石油ガス0.0598(kg-CO2/MJ) ガソリン0.0671(kg-CO2/MJ) 軽油0.0687(kg-CO2/MJ) (以降同様)

5 - 1 . 本社・新住工場(目標対比:2006年度)

		PLAN	DO	CHECK	ACTION																																				
二酸化炭素排出量削減	購入電力削減 目標 12.5%	生産性向上による 購入電力の削減を図る 本社・新住工場では二酸化炭素 排出量における購入電力の割合が 高く(2010年度 約87.6%)、購入 電力の削減が最も大きな課題である。	多品種少量生産に対応すべく 切替時間の短縮を図る。	削減目標 12.5% 活動の評価 × <table border="1"> <tr> <th>項目(単位)</th> <th>2006年 (37期)</th> <th>2010年 (41期)</th> <th>削減率 (%)</th> </tr> <tr> <td>購入電力(kwh)</td> <td>1287760</td> <td>1177254</td> <td>8.6%</td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td> <td>486773.3</td> <td>445002</td> <td>8.6%</td> </tr> <tr> <td>生産量(t)</td> <td>2373</td> <td>1450</td> <td></td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素排出量/生産量</td> <td>205.1</td> <td>306.9</td> <td>-49.6%</td> </tr> </table> <p>新規設備導入に伴い、購入電力量が昨年(2009年実績1139783kwh) より増加しましたが、生産量あたりの二酸化炭素排出量は 昨年より改善しています。</p>	項目(単位)	2006年 (37期)	2010年 (41期)	削減率 (%)	購入電力(kwh)	1287760	1177254	8.6%	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	486773.3	445002	8.6%	生産量(t)	2373	1450		二酸化炭素排出量/生産量	205.1	306.9	-49.6%	購入電力/生産量だけでなく、 購入電力による二酸化炭素排出量の総量に おいても目標を達成できるよう生産性を追及していく。																
	項目(単位)	2006年 (37期)	2010年 (41期)	削減率 (%)																																					
購入電力(kwh)	1287760	1177254	8.6%																																						
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	486773.3	445002	8.6%																																						
生産量(t)	2373	1450																																							
二酸化炭素排出量/生産量	205.1	306.9	-49.6%																																						
使用量削減 目標 52.1%	「エコドライブ」を推進し、 アイドリングストップに努める。	燃費の測定と運転手への省エネ運転の励行。	削減目標 52.1% 活動の評価 × <table border="1"> <tr> <th>項目(単位)</th> <th>2006年 (37期)</th> <th>2010年 (41期)</th> <th>削減率 (%)</th> </tr> <tr> <td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td> <td>125357</td> <td>62935</td> <td>49.8%</td> </tr> <tr> <td>売上高(万円)</td> <td>250187</td> <td>211499</td> <td></td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素排出量/売上高</td> <td>0.50</td> <td>0.30</td> <td>40.6%</td> </tr> </table>	項目(単位)	2006年 (37期)	2010年 (41期)	削減率 (%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	125357	62935	49.8%	売上高(万円)	250187	211499		二酸化炭素排出量/売上高	0.50	0.30	40.6%	更なる省エネ運転・効率配送を目指し 改善に努める。																					
項目(単位)	2006年 (37期)	2010年 (41期)	削減率 (%)																																						
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	125357	62935	49.8%																																						
売上高(万円)	250187	211499																																							
二酸化炭素排出量/売上高	0.50	0.30	40.6%																																						
廃棄物削減	再資源化による推進 目標 53.5%	廃棄物の分別・再資源化 ダンボール 鉄材 廃プラ 事務所関連廃棄物の削減 工場内配布書類(手配書等)は 裏紙を使用 機密文書の再資源化	ダンボールは分別し、古紙再生業者に引取実施 鉄材は再生業者へ持込 廃プラ圧縮し、リサイクル業者に持ち込む。 輸入梱包材の木パレットを 釘のない部分を切断し、再資源化 製造工程で発生する木材屑(プレナー屑等)は 自社内ボイラー燃料として熱回収及び 循環資源として再生利用 事務書類を業者にて破碎処理し、 再生紙原料にする。	削減目標 53.5% 活動の評価 × <table border="1"> <tr> <th>項目(単位:t)</th> <th>2006年 (37期)</th> <th>2010年 (41期)</th> <th>削減率 (%)</th> </tr> <tr> <td>事務所(紙)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工場(ダンボール)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工場(鉄)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃プラ</td> <td>4.05</td> <td>0</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>工場関連(その他)</td> <td>20.4</td> <td>19.4</td> <td>4.9%</td> </tr> <tr> <td>廃棄物計</td> <td>24.4</td> <td>19.4</td> <td>20.5%</td> </tr> <tr> <td>生産量</td> <td>2373</td> <td>1450</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃棄物量/生産量</td> <td>0.010</td> <td>0.013</td> <td>-30.1%</td> </tr> </table> <p>事務所の一般廃棄物の排出は非常に僅かの為算入していません 分別・資源化は実施していますが、今期は新規設備導入に伴う 工場レイアウト変更により廃棄物量が増加しました。</p>	項目(単位:t)	2006年 (37期)	2010年 (41期)	削減率 (%)	事務所(紙)	0	0		工場(ダンボール)	0	0		工場(鉄)	0	0		廃プラ	4.05	0	100.0%	工場関連(その他)	20.4	19.4	4.9%	廃棄物計	24.4	19.4	20.5%	生産量	2373	1450		廃棄物量/生産量	0.010	0.013	-30.1%	今まで資源化出来ていなかった物について 再度見直しを検討し削減に努める。
	項目(単位:t)	2006年 (37期)	2010年 (41期)	削減率 (%)																																					
事務所(紙)	0	0																																							
工場(ダンボール)	0	0																																							
工場(鉄)	0	0																																							
廃プラ	4.05	0	100.0%																																						
工場関連(その他)	20.4	19.4	4.9%																																						
廃棄物計	24.4	19.4	20.5%																																						
生産量	2373	1450																																							
廃棄物量/生産量	0.010	0.013	-30.1%																																						
総削減水量 目標 42.0%	ボイラーの給水装置の改善 事務所節水の徹底	ボイラーの燃料の木屑を再利用に回し、 余分な蒸気を生じさせない様にする。	削減目標 42.0% 活動の評価 × <table border="1"> <tr> <th>項目(単位)</th> <th>2006年 (37期)</th> <th>2010年 (41期)</th> <th>削減率 (%)</th> </tr> <tr> <td>総排水量(m³)</td> <td>6963</td> <td>4158</td> <td>40.3%</td> </tr> <tr> <td>生産量(t)</td> <td>2373</td> <td>1450</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総排水量/生産量(m³/t)</td> <td>2.9</td> <td>2.9</td> <td>2.3%</td> </tr> </table>	項目(単位)	2006年 (37期)	2010年 (41期)	削減率 (%)	総排水量(m ³)	6963	4158	40.3%	生産量(t)	2373	1450		総排水量/生産量(m ³ /t)	2.9	2.9	2.3%	○ボイラーの効率運転に努める。 ○事務所の節水を徹底し、削減に努める。																					
項目(単位)	2006年 (37期)	2010年 (41期)	削減率 (%)																																						
総排水量(m ³)	6963	4158	40.3%																																						
生産量(t)	2373	1450																																							
総排水量/生産量(m ³ /t)	2.9	2.9	2.3%																																						
化学物質	接着剤の使用量を把握し、 生産量あたりの接着剤の使用量を維持する	毎月の接着剤の購入量と在庫を管理	生産量あたりの接着剤の 使用量を維持する 活動の評価 <table border="1"> <tr> <th>項目(単位)</th> <th>2009年 (40期)</th> <th>2010年 (41期)</th> <th>削減率 (%)</th> </tr> <tr> <td>総量(トン/年)</td> <td>20.28</td> <td>21.22</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生産量(トン/年)</td> <td>1250</td> <td>1450</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生産量当たり使用量(t/m³)</td> <td>0.016</td> <td>0.015</td> <td>9.8%</td> </tr> </table>	項目(単位)	2009年 (40期)	2010年 (41期)	削減率 (%)	総量(トン/年)	20.28	21.22		生産量(トン/年)	1250	1450		生産量当たり使用量(t/m ³)	0.016	0.015	9.8%	○現状の運用を維持する。																					
項目(単位)	2009年 (40期)	2010年 (41期)	削減率 (%)																																						
総量(トン/年)	20.28	21.22																																							
生産量(トン/年)	1250	1450																																							
生産量当たり使用量(t/m ³)	0.016	0.015	9.8%																																						
グリーン購入	環境配慮製品購入の推進	資材および物品購入時に環境配慮製品の 購入を検討する。	目標 1件 実績 1件(以上)	○認証木材購入の継続に努める。 ○現状の運用を継続する。																																					
環境配慮製品	化粧ばり造作用集材材の原材料に おいて認証材の使用割合10%以上	化粧ばり造作用集材材の原材料発注に際し 認証材の購買を検討する。	化粧ばり造作用集材材の原材料に おいて認証材の使用割合10%以上 活動の評価 <table border="1"> <tr> <th>項目(単位)</th> <th>2009年 (40期)</th> <th>2010年 (41期)</th> <th>削減率 (%)</th> </tr> <tr> <td>化粧ばり造作用集材材用の 認証材総量(トン/年)</td> <td></td> <td>601</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧ばり造作用集材材用の 原材料総量(トン/年)</td> <td></td> <td>2434</td> <td></td> </tr> <tr> <td>認証材使用割合(%)</td> <td></td> <td>24.7%</td> <td></td> </tr> </table>	項目(単位)	2009年 (40期)	2010年 (41期)	削減率 (%)	化粧ばり造作用集材材用の 認証材総量(トン/年)		601		化粧ばり造作用集材材用の 原材料総量(トン/年)		2434		認証材使用割合(%)		24.7%		○認証木材購入の継続に努める。																					
項目(単位)	2009年 (40期)	2010年 (41期)	削減率 (%)																																						
化粧ばり造作用集材材用の 認証材総量(トン/年)		601																																							
化粧ばり造作用集材材用の 原材料総量(トン/年)		2434																																							
認証材使用割合(%)		24.7%																																							

5 - 2 . 田原本工場(目標対比:2006年度)

	PLAN	DO	CHECK	ACTION																																
二酸化炭素排出量削減	生産性向上による 購入電力の削減を図る 電灯の効率利用を図る 田原本工場では二酸化炭素 排出量における購入電力の割合が 高く(2010年度 約91.8%)、購入 電力の削減が最も大きな課題である。 目標 17.9%	機械の生産性を上げ、生産の効率化を図る。 電灯の節電を実施	削減目標 17.9% 活動の評価 × <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(単位)</th> <th>2006年 (37期)</th> <th>2010年 (41期)</th> <th>削減率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>購入電力(kwh)</td> <td>1360201</td> <td>1138985</td> <td>16.3%</td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td> <td>514156</td> <td>430536</td> <td>16.3%</td> </tr> <tr> <td>生産量(t)</td> <td>6899</td> <td>6818</td> <td></td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素排出量/生産量</td> <td>74.5</td> <td>63.1</td> <td>15.3%</td> </tr> </tbody> </table>	項目(単位)	2006年 (37期)	2010年 (41期)	削減率 (%)	購入電力(kwh)	1360201	1138985	16.3%	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	514156	430536	16.3%	生産量(t)	6899	6818		二酸化炭素排出量/生産量	74.5	63.1	15.3%	生産体制を見直し、購入電力削減に努める。												
項目(単位)	2006年 (37期)	2010年 (41期)	削減率 (%)																																	
購入電力(kwh)	1360201	1138985	16.3%																																	
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	514156	430536	16.3%																																	
生産量(t)	6899	6818																																		
二酸化炭素排出量/生産量	74.5	63.1	15.3%																																	
化石燃料削減	「エコドライブ」を推進し、 アイドリングストップに努める。 省エネ運転を励行する。 目標 22.4%	朝礼等での啓蒙 フォークリフトに啓蒙表示	削減目標 22.4% 活動の評価 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(単位)</th> <th>2006年 (37期)</th> <th>2010年 (41期)</th> <th>削減率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td> <td>51833</td> <td>38656</td> <td>25.4%</td> </tr> <tr> <td>生産量(t)</td> <td>6899</td> <td>6818</td> <td></td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素排出量/生産量</td> <td>7.51</td> <td>5.67</td> <td>24.5%</td> </tr> </tbody> </table>	項目(単位)	2006年 (37期)	2010年 (41期)	削減率 (%)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	51833	38656	25.4%	生産量(t)	6899	6818		二酸化炭素排出量/生産量	7.51	5.67	24.5%	更なる省エネ運転を目指す。																
項目(単位)	2006年 (37期)	2010年 (41期)	削減率 (%)																																	
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	51833	38656	25.4%																																	
生産量(t)	6899	6818																																		
二酸化炭素排出量/生産量	7.51	5.67	24.5%																																	
廃棄物削減	廃棄物を分別・再資源化 鉄材 廃プラ 事務所関連廃棄物の削減 目標 72.7%	ダンボールは分別し、古紙再生業者に引取実施 鉄材は再生業者へ持込 廃プラ圧縮し、リサイクル業者に持ち込む。 製造工程で発生する木材屑(プレナー屑)は 自社内ボイラー燃料として熱回収及び 循環資源として再生利用 焼却炉での木屑の単純焼却量を減らし、 再生利用に回す。	削減目標 72.7% 活動の評価 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(単位:t)</th> <th>2006年 (37期)</th> <th>2010年 (41期)</th> <th>削減率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木材(プレナー屑)</td> <td>252.6</td> <td>31.2</td> <td>87.6%</td> </tr> <tr> <td>工場(鉄)</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃プラ</td> <td>30.4</td> <td>0</td> <td>-1.5%</td> </tr> <tr> <td>工場関連(その他)</td> <td></td> <td>30.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃棄物計</td> <td>283</td> <td>62.1</td> <td>78.1%</td> </tr> <tr> <td>生産量</td> <td>6899</td> <td>6818</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃棄物量/生産量</td> <td>0.041</td> <td>0.009</td> <td>77.8%</td> </tr> </tbody> </table> <small>事務所の一般廃棄物は工場関連(その他)に含まれています。</small>	項目(単位:t)	2006年 (37期)	2010年 (41期)	削減率 (%)	木材(プレナー屑)	252.6	31.2	87.6%	工場(鉄)		0		廃プラ	30.4	0	-1.5%	工場関連(その他)		30.9		廃棄物計	283	62.1	78.1%	生産量	6899	6818		廃棄物量/生産量	0.041	0.009	77.8%	木材(プレナー屑)のリサイクルを さらに推し進める。
項目(単位:t)	2006年 (37期)	2010年 (41期)	削減率 (%)																																	
木材(プレナー屑)	252.6	31.2	87.6%																																	
工場(鉄)		0																																		
廃プラ	30.4	0	-1.5%																																	
工場関連(その他)		30.9																																		
廃棄物計	283	62.1	78.1%																																	
生産量	6899	6818																																		
廃棄物量/生産量	0.041	0.009	77.8%																																	
総削減水量	人工乾燥作業の生産性向上 事務所節水の徹底 目標 28.5%	夏・冬で蒸気配管バルブの開閉を見直し実施 ボイラーの運転時間を夏・冬で見直し実施 人工乾燥に使用していた蒸気をボイラーの 給水タンクにもどす	削減目標 28.5% 活動の評価 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(単位)</th> <th>2006年 (37期)</th> <th>2010年 (41期)</th> <th>削減率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総排水量(m)</td> <td>7829</td> <td>5235</td> <td>33.1%</td> </tr> <tr> <td>生産量(t)</td> <td>6899</td> <td>6818</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総排水量/生産量(m³/t)</td> <td>1.1</td> <td>0.8</td> <td>32.3%</td> </tr> </tbody> </table>	項目(単位)	2006年 (37期)	2010年 (41期)	削減率 (%)	総排水量(m)	7829	5235	33.1%	生産量(t)	6899	6818		総排水量/生産量(m ³ /t)	1.1	0.8	32.3%	焼却炉の燃焼量を少なくして 使用水量を削減する。																
項目(単位)	2006年 (37期)	2010年 (41期)	削減率 (%)																																	
総排水量(m)	7829	5235	33.1%																																	
生産量(t)	6899	6818																																		
総排水量/生産量(m ³ /t)	1.1	0.8	32.3%																																	
化学物質	接着剤の使用量を把握し、 生産量あたりの接着剤の使用量を維持する	毎月の接着剤の購入量と在庫を管理	生産量あたりの接着剤の 使用量を維持する 活動の評価 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(単位)</th> <th>2009年 (40期)</th> <th>2010年 (41期)</th> <th>削減率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総量(トン/年)</td> <td>177.8</td> <td>178.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生産量(トン/年)</td> <td>6500</td> <td>6818</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生産量当たり使用量(t/m³)</td> <td>0.027</td> <td>0.026</td> <td>4.5%</td> </tr> </tbody> </table>	項目(単位)	2009年 (40期)	2010年 (41期)	削減率 (%)	総量(トン/年)	177.8	178.1		生産量(トン/年)	6500	6818		生産量当たり使用量(t/m ³)	0.027	0.026	4.5%	○現状の運用を維持する。																
項目(単位)	2009年 (40期)	2010年 (41期)	削減率 (%)																																	
総量(トン/年)	177.8	178.1																																		
生産量(トン/年)	6500	6818																																		
生産量当たり使用量(t/m ³)	0.027	0.026	4.5%																																	
グリーン購入	環境配慮製品購入の推進	資材および物品購入時に環境配慮製品の 購入を検討する。	目標 1件 実績 1件 活動の評価	○現状の運用を継続する。																																
環境配慮製品	化粧品ばり造作用集成材の原材料に おいて認証材の使用割合10%以上	化粧品ばり造作用集成材の原材料発注に際し 認証材の購買を検討する。	化粧品ばり造作用集成材の原材料に おいて認証材の使用割合10%以上 活動の評価 なし <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目(単位)</th> <th>2009年 (40期)</th> <th>2010年 (41期)</th> <th>削減率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>化粧品ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧品ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>認証材使用割合(%)</td> <td></td> <td>- - -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目(単位)	2009年 (40期)	2010年 (41期)	削減率 (%)	化粧品ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)		0		化粧品ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)		0		認証材使用割合(%)		- - -		2010年度は対象製品の生産はありませんでした。																
項目(単位)	2009年 (40期)	2010年 (41期)	削減率 (%)																																	
化粧品ばり造作用集成材用の 認証材総量(トン/年)		0																																		
化粧品ばり造作用集成材用の 原材料総量(トン/年)		0																																		
認証材使用割合(%)		- - -																																		

5 - 3 . 五條工場(目標対比:2006年度)

		PLAN	DO	CHECK	ACTION																														
二酸化炭素排出量削減	購入電力削減	生産性向上による購入電力の削減を図る 五條工場では二酸化炭素排出量における購入電力の割合は約39.9%(2010年度) 目標 29.9%	機械の生産性を上げ、生産の効率化を図る。 電灯の節電を実施	削減目標 29.9% 活動の評価 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目(単位)</th> <th>2006年</th> <th>2010年</th> <th rowspan="2">削減率(%)</th> </tr> <tr> <th>(37期)</th> <th>(41期)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>購入電力(kwh)</td> <td>1083903</td> <td>759989</td> <td>29.9%</td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td> <td>409715</td> <td>287276</td> <td>29.9%</td> </tr> <tr> <td>生産量(t)</td> <td>1867</td> <td>3123</td> <td></td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素排出量/生産量</td> <td>219.5</td> <td>92.0</td> <td>58.1%</td> </tr> </tbody> </table>	項目(単位)	2006年	2010年	削減率(%)	(37期)	(41期)	購入電力(kwh)	1083903	759989	29.9%	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	409715	287276	29.9%	生産量(t)	1867	3123		二酸化炭素排出量/生産量	219.5	92.0	58.1%	各生産設備の生産性を上げることで生産量あたりの二酸化炭素排出量を削減する。								
	項目(単位)	2006年	2010年	削減率(%)																															
(37期)		(41期)																																	
購入電力(kwh)	1083903	759989	29.9%																																
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	409715	287276	29.9%																																
生産量(t)	1867	3123																																	
二酸化炭素排出量/生産量	219.5	92.0	58.1%																																
使用化石燃料削減	「エコドライブ」を推進し、アイドリングストップに努める。 省エネ運転を励行する。 灯油ボイラーによるラミナの人工乾燥の効率化を図る。 目標 28.2%	朝礼等での啓蒙 フォークリフトに啓蒙表示 灯油ボイラーによる人工乾燥方法の変更を検討	削減目標 28.2% 活動の評価 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目(単位)</th> <th>2006年</th> <th>2010年</th> <th rowspan="2">削減率(%)</th> </tr> <tr> <th>(37期)</th> <th>(41期)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化炭素排出量(kg-CO2)</td> <td>460791</td> <td>432504</td> <td>6.1%</td> </tr> <tr> <td>生産量(t)</td> <td>1867</td> <td>3123</td> <td></td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素排出量/生産量</td> <td>246.81</td> <td>138.49</td> <td>43.9%</td> </tr> </tbody> </table>	項目(単位)	2006年	2010年	削減率(%)	(37期)	(41期)	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	460791	432504	6.1%	生産量(t)	1867	3123		二酸化炭素排出量/生産量	246.81	138.49	43.9%	人工乾燥の前に天然乾燥を十分することでボイラーの灯油使用量を削減する。													
項目(単位)	2006年	2010年	削減率(%)																																
	(37期)	(41期)																																	
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	460791	432504	6.1%																																
生産量(t)	1867	3123																																	
二酸化炭素排出量/生産量	246.81	138.49	43.9%																																
廃棄物削減	再資源化による推進	廃棄物を分別・再資源化 鉄材 廃プラ 事務所関連廃棄物の削減 工場内配布書類(手配書等)は裏紙を使用	ダンボールは分別し、古紙再生業者に引取実施 鉄材は再生業者へ持込 廃プラ圧縮し、リサイクル業者に持ち込む。 製造工程で発生する木材屑(プレナー屑等)は自社内ボイラー燃料として熱回収及び循環資源として再生利用	削減目標 3.0% 活動の評価 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目(単位:t)</th> <th>2006年</th> <th>2010年</th> <th rowspan="2">削減率(%)</th> </tr> <tr> <th>(37期)</th> <th>(41期)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">廃棄物</td> <td>工場(鉄)</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃プラ</td> <td>3.3</td> <td>0</td> <td>-6.7%</td> </tr> <tr> <td>工場関連(その他)</td> <td></td> <td>3.52</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃棄物計</td> <td>3.3</td> <td>3.52</td> <td>-6.7%</td> </tr> <tr> <td>生産量</td> <td>1867</td> <td>3123</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃棄物量/生産量</td> <td>0.0018</td> <td>0.0011</td> <td>36.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>事務所の一般廃棄物の排出は非常に僅かの為算入していません (補足説明) 基準年(2006年)の廃棄物排出量は本来2006年度に排出されるはずの廃棄物4.26tが2007年に処理された為、本来より低い数値となっている。</p>	項目(単位:t)	2006年	2010年	削減率(%)	(37期)	(41期)	廃棄物	工場(鉄)	0		廃プラ	3.3	0	-6.7%	工場関連(その他)		3.52		廃棄物計	3.3	3.52	-6.7%	生産量	1867	3123		廃棄物量/生産量	0.0018	0.0011	36.2%	来期はパレット等工場関連廃棄物の資源化を進める。
	項目(単位:t)	2006年	2010年	削減率(%)																															
(37期)		(41期)																																	
廃棄物	工場(鉄)	0																																	
	廃プラ	3.3	0	-6.7%																															
	工場関連(その他)		3.52																																
廃棄物計	3.3	3.52	-6.7%																																
生産量	1867	3123																																	
廃棄物量/生産量	0.0018	0.0011	36.2%																																
総削減水量	人工乾燥作業の生産性向上 事務所節水の徹底 五條工場ではラミナ(製品を構成する板)を乾燥するためのボイラーに水を使用している。 (ラミナとは製品を構成する板材のこと) 目標 16.0%	水道水使用量を毎月確認する。	削減目標 16.0% 活動の評価 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目(単位)</th> <th>2006年</th> <th>2010年</th> <th rowspan="2">削減率(%)</th> </tr> <tr> <th>(37期)</th> <th>(41期)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総排水量(m³)</td> <td>5077</td> <td>4451</td> <td>12.3%</td> </tr> <tr> <td>生産量(t)</td> <td>1867</td> <td>3123</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総排水量/生産量(m³/t)</td> <td>2.7193</td> <td>1.4252</td> <td>47.6%</td> </tr> </tbody> </table>	項目(単位)	2006年	2010年	削減率(%)	(37期)	(41期)	総排水量(m ³)	5077	4451	12.3%	生産量(t)	1867	3123		総排水量/生産量(m ³ /t)	2.7193	1.4252	47.6%	人工乾燥の前に天然乾燥を十分することでボイラー使用水の削減する。 ○人工乾燥時の木屑焼きボイラーの蒸気を効率運用する。													
項目(単位)	2006年	2010年	削減率(%)																																
	(37期)	(41期)																																	
総排水量(m ³)	5077	4451	12.3%																																
生産量(t)	1867	3123																																	
総排水量/生産量(m ³ /t)	2.7193	1.4252	47.6%																																
化学物質	接着剤の使用量を把握し、生産量あたりの接着剤の使用量を維持する	毎月の接着剤の購入量と在庫を管理	生産量あたりの接着剤の使用量を維持する 活動の評価 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目(単位)</th> <th>2009年</th> <th>2010年</th> <th rowspan="2">削減率(%)</th> </tr> <tr> <th>(40期)</th> <th>(41期)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総量(トン/年)</td> <td>44.24</td> <td>44.16</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生産量(トン/年)</td> <td>2054</td> <td>3123</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生産量当たり使用量(l/m³)</td> <td>0.022</td> <td>0.014</td> <td>34.3%</td> </tr> </tbody> </table>	項目(単位)	2009年	2010年	削減率(%)	(40期)	(41期)	総量(トン/年)	44.24	44.16		生産量(トン/年)	2054	3123		生産量当たり使用量(l/m ³)	0.022	0.014	34.3%	○現状の運用を維持する。													
項目(単位)	2009年	2010年	削減率(%)																																
	(40期)	(41期)																																	
総量(トン/年)	44.24	44.16																																	
生産量(トン/年)	2054	3123																																	
生産量当たり使用量(l/m ³)	0.022	0.014	34.3%																																
グリーン購入	環境配慮製品購入の推進	資材および物品購入時に環境配慮製品の購入を検討する。	目標 1件 実績 1件 活動の評価	○現状の運用を継続する。																															
環境配慮	化粧ばり造作用集材材の原材料において認証材の使用割合10%以上	化粧ばり造作用集材材の原材料発注に際し認証材の購買を検討する。	化粧ばり造作用集材材の原材料において認証材の使用割合10%以上 活動の評価 なし <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目(単位)</th> <th>2009年</th> <th>2010年</th> <th rowspan="2">削減率(%)</th> </tr> <tr> <th>(40期)</th> <th>(41期)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>化粧ばり造作用集材材用の認証材総量(トン/年)</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧ばり造作用集材材用の原材料総量(トン/年)</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>認証材使用割合(%)</td> <td></td> <td>- - -</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目(単位)	2009年	2010年	削減率(%)	(40期)	(41期)	化粧ばり造作用集材材用の認証材総量(トン/年)		0		化粧ばり造作用集材材用の原材料総量(トン/年)		0		認証材使用割合(%)		- - -		2010年度は対象製品の生産はありませんでした。													
項目(単位)	2009年	2010年	削減率(%)																																
	(40期)	(41期)																																	
化粧ばり造作用集材材用の認証材総量(トン/年)		0																																	
化粧ばり造作用集材材用の原材料総量(トン/年)		0																																	
認証材使用割合(%)		- - -																																	

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社に関連する環境関連法規は次の通りです
 本社・新住工場

環境関連法	主要な設備等	遵守
大気汚染防止法	焼却炉	
騒音規制法	木材加工機 コンプレッサー	
振動規制法	コンプレッサー	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物	
ダイオキシン類対策特別措置法	焼却炉	
消防法	木材加工品 木屑	
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	第1種指定化学物質	
NOxPM法	トラック	

田原本工場

環境関連法	主要な設備等	遵守
大気汚染防止法	ボイラー	
騒音規制法	木材加工機 コンプレッサー	
振動規制法	コンプレッサー	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物	
ダイオキシン類対策特別措置法	焼却炉	
消防法	木材加工品 木屑	
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	第1種指定化学物質	
NOxPM法	トラック	

五條工場

環境関連法	主要な設備等	遵守
大気汚染防止法	ボイラー	
騒音規制法	木材加工機 コンプレッサー	
振動規制法	コンプレッサー	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物	
消防法	木材加工品 木屑	
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	第1種指定化学物質	
NOxPM法	トラック	

過去3年間、関係当局より違反の指摘はありません。
 環境関連法規について自主的に見直した結果、不備はありませんでした。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

環境マネジメントシステムのプロセスは定着している。
 2010年度の対象組織全体の活動結果は二酸化炭素排出量を除き目標を達成している。

二酸化炭素排出量については生産量増加のための新規設備導入によるもので、今後はさらに排出総量はもちろんのこと生産量あたりの排出量の削減に務めたい。

また各部署の活動結果にはばらつきがあるので来期は各部署の未達部門について見直していきたい。

平成23年2月25日 代表取締役社長 貝本 隆三

次回の環境レポートは平成24年3月の予定です。